

令和5年司法試験合格体験記

令和4年度修了(未修コース) 嶋崎 宇謙

17期未修の嶋崎宇謙と申します。この度、私が司法試験に合格できたのは、決して私一人の力だけではなく、家族、先生方、先輩方、同期・同学年の皆さん、資料室・事務の方々といった多くの支えがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

振り返ってみると、ロースクールで勉強しているときは、常に不安と隣り合わせの日々でした。友人の多くは社会人として活躍し始めていることもあって、私は、友人とのギャップに戸惑い、焦燥感に駆られていました。また、勉強に追われる日々が嫌になって、一日中ベッドから出ないときも多々ありました。このように弱い人間である私が、司法試験に合格できたのは、本当に岡大ロースクールのおかげです。重ねて御礼申し上げます。

未熟な私ではありますが、受験生の方にアドバイスをするならば、ある程度開き直ることが日常においても司法試験本番においても大事だと思います。元代の僧侶である熙晦機の詩に、「人間万事塞翁が馬、推枕軒中雨を聴いて眠る」とあるように、目先の出来事に一喜一憂しないで、成り行きに任せるという心持ちでいた方が、余計な気苦勞で心身をすり減らさずに済みます。岡大ロースクールの授業やゼミに必死に食らいついてきた受験生の方は、司法試験に合格できるだけの力は十分についています。精神的に追い込まれて本来の力が発揮できないことにはならないように、なるようになるだろうの精神で司法試験を乗り切ってください。応援しています。

そして、私自身、司法試験合格は一つの区切りではありますが、あくまでスタートラインに立ったにすぎません。岡大ロースクールの名に恥じない法曹になれるよう、ロースクール時代を忘れず、いつまでも探求心を持ち続けていきたいと思っています。